

# カワムラナベブタムシ

*Aphelocheirus kawamurae* Matsumura  
カメムシ目・ナベブタムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠA類

## 選定理由

「福井県昆虫図譜」に1938年の記録があるのみで、80年ほど記録されていない。琵琶湖水系に生息している可能性もわずかにあり、現ランクを維持。

## 分布

分布は琵琶湖と琵琶湖水系のみである。県内では1938年の「福井県昆虫図譜」に敦賀市栗野の記録があるのみで、その後の記録はない。

## 種の特徴

体長8mmの小型の黒いナベブタムシで、頭部、脚は鮮黄色の美麗種。頭部は他の種より長く、前方に突出し、前縁は濃褐色。琵琶湖と琵琶湖水系だけから知られている珍しいナベブタムシ。

## 生息を脅かす要因

用水路等のコンクリート三面張り化によりナベブタムシ類の個体数、分布域は年々減少しているものと思われる。また、農業等の影響も懸念される。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、福井県自然環境保全調査研究会（1998）、宮本（1965）、日浦（1993）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

# ミヤケミズムシ

*Xenocorixa vittipennis* (Horváth)  
カメムシ目・ミズムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

県内では北潟湖周辺でしか採集されておらず、分布は局所的で、個体数も少ない。環境の変化、悪化による影響を受けやすい。

## 分布

本州、九州に分布。県内ではあわら市の記録のみである。

## 種の特徴

体長は8～9mmの大型のミズムシ類。光沢が強く、淡黄色に明瞭な黒条を有する。

## 生息を脅かす要因

今回の調査で見つかったのは北潟湖周辺の1地点のみである。北潟湖は平地にある外来種の多い湖沼であり、外来種の進入等による環境悪化が懸念される。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、福井県自然環境保全調査研究会（1998）、宮本（1965）、日浦（1993）、都築ら（2000）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
													○				

# カワラハンミョウ

*Chaetodera laetescripta circumpectula* (W. Horn)  
コウチュウ目・オサムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

## 選定理由

各県で絶滅あるいは危惧されている。本県では1982年に1頭が採集されて以降、確認されていない。その後の探索でも確認されておらず、絶滅が確実視される。

## 分布

北海道～九州に分布する。本県では、1982年に三国町の橋の灯火に飛来したものが採集され、近隣の河川敷や砂浜での生息が期待される。大野市鳩ヶ湯での記録はやや疑問。

## 種の特徴

体長約15mm。背面は光沢のない黒色、上翅に独特な白紋を持ち変異が大きい。上翅の側縁が白いことで他のハンミョウ類から識別できる。中下流域の河川敷や海岸の砂丘等に生息する。細かい砂を好み、海浜植物帯の海側でみられる。夏季、活発に活動し、成虫・幼虫ともに捕食性。

## 生息を脅かす要因

河川敷の改変や海岸砂浜の消失による生息地の減少、娯楽や清掃の車乗り入れは脅威となる。幼虫の営巣や成虫の越冬で海岸林内を利用するため、海岸林の改変も存続を脅かす。また、砂浜と松林を分断する道路設置も移動を阻むものであり、道路計画も勘案しなければならない。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○					○	○

昆虫類